

都道府県名：山梨県 団体名：特定非営利活動法人甲斐駒清流懇話会

地域

甲斐駒清流懇話会が活動の拠点としている北杜市白州町、武川町は、甲府盆地の北西部に位置し、山梨県の北西端として長野県に接しています。

北杜市は八ヶ岳や南アルプスなどの名峰に囲まれ、白州・尾白川、八ヶ岳南麓湧水群、きんぶ金峰山・みずがき瑞牆山源流の3箇所が、日本の名水百選に選ばれているという山紫水明の地であり、中でも、白州町、武川町は、南アルプスを水源とする尾白川や大武川といった清流が流れる名水の地です。また、山梨県を代表するブランド米である「梨北米」の産地でもあります。

経緯

甲斐駒清流懇話会は平成11年に国土交通省の支援で白州・武川の住民と学識経験者・企業・行政が一緒になって、自然災害に対する防災意識の啓蒙と溪流環境を学び親しむ活動を行うことを目的に設立され、平成21年にNPO法人になりました。

昭和34年に起きた台風災害によって大規模な土石流の被害を受けた白州・武川地域を活動拠点として、様々な環境活動や教育活動を行っています。

功績内容

会の設立以来、(1)昭和34年と昭和57年に発生した土石流災害の被災状況・経験等を伝承するための事業、(2)溪流環境を学ぶための事業、(3)地域の発展を支援するための事業、(4)地域の安全を考えるための事業の4つを柱とする活動を展開してきました。

平成21年には、「災害復興50周年記念誌～川・語り継ぐ記憶～」を発行し、水害の恐ろしさを学ぶための資料として広く活用されています。これらの活動により、地域の水防意識を高めるとともに、溪流環境の保全、川の恩恵の普及啓発を図り、釜無川上流白州・武川の地域活性化に大きく貢献しています。

また、これらの活動の功績が認められ、善行表彰(北杜市)、環境保全功績者表彰(山梨県)、日本水大賞(日本水大賞委員会・国土交通省)などを受賞しています。



「甲斐駒清流ウォーク」



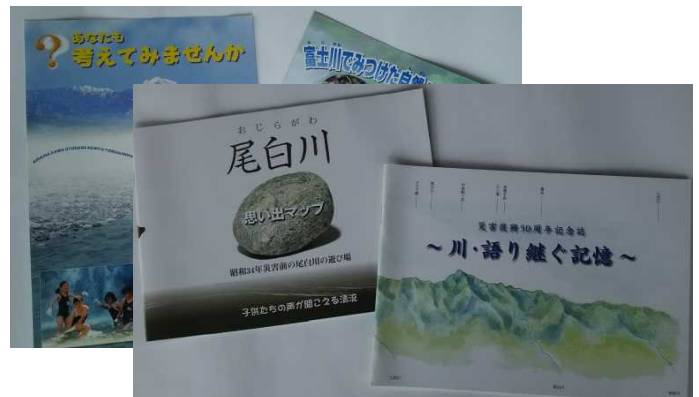
人口産卵河川の整備



尾白川魚つかみ取り



小学生と父兄を対象とした砂防校外授業



記録資料、啓発資料の作成